



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月4日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <https://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 近藤 康彦

TEL 03-5977-5002

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	18,150	0.3	3,293	18.8	3,488	19.5	2,510	13.7
2023年3月期第1四半期	18,197	1.4	4,056	8.3	4,332	7.0	2,907	13.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,810百万円 (26.4%) 2023年3月期第1四半期 3,014百万円 (8.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	66.99	
2023年3月期第1四半期	76.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	167,151	137,833	82.1
2023年3月期	166,328	136,836	81.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 137,255百万円 2023年3月期 136,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		75.00		75.00	150.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		75.00		75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,100	0.2	7,600	5.0	8,000	8.3	6,700	23.2	178.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	45,939,700 株	2023年3月期	45,939,730 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	8,466,918 株	2023年3月期	8,466,780 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	37,472,900 株	2023年3月期1Q	37,808,445 株

(注)期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2024年3月期1Q 33,400株、2023年3月期 33,400株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期1Q 33,400株、2023年3月期1Q 38,500株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内医薬品事業におきましては、高齢化社会の進行等によって国の医療財政が逼迫する中、薬価制度の抜本改革をはじめとする様々な医療費抑制策が進められており、中間年薬価改定の実施等、当第1四半期累計期間においても引き続き厳しい事業環境にあります。

このような環境の中、当社グループは、2022年を起点とする10か年の経営計画において、製薬業界を取り巻く厳しい状況や、それに伴う当社グループの長期的課題を分析し、2031年ビジョンとして「画期的新薬の迅速な創出・提供により健康寿命延伸に貢献し続ける企業」「皮膚科、整形外科領域を中心にグローバルに展開する創薬企業」を掲げました。また、当社グループは、ビジョン実現のための戦略として「研究開発」「海外展開」「経営基盤」の3つのTransformationを策定し、研究開発への積極的な戦略投資、高い有効性と安全性を有し世界に通用する医薬品を効率良く創出・販売できる体制の構築、挑戦と変革を追求し続ける人材の育成等を進め、経営計画達成に向けて取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は18,150百万円(対前年同期比0.3%減)であり、前年並みとなりました。利益面では、主に販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は3,293百万円(対前年同期比18.8%減)、経常利益は3,488百万円(対前年同期比19.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,510百万円(対前年同期比13.7%減)となりました。販売費及び一般管理費が増加した主たる要因は、研究開発費が対前年同期比28.1%増加し、2,600百万円となったためであります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①薬業

医薬品・医療機器につきましては、6月1日に新容器であるツイストボトルを発売した原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」や関節機能改善剤「アルツ」等の売上が増加した一方、競合品や薬価改定の影響等を受け、癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」や爪白癬治療剤「クレナフィン」等の売上が減少したことにより、減収となりました。

農業薬品につきましては、微生物由来の天然物質農薬である「ポリオキシシン」等の売上増加により増収となりました。

この結果、売上高は17,545百万円(対前年同期比0.2%減)、セグメント利益(営業利益)は2,972百万円(対前年同期比21.0%減)となりました。

なお、海外売上高は1,518百万円(対前年同期比2.0%増)となりました。

②不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は605百万円(対前年同期比1.6%減)、セグメント利益(営業利益)は321百万円(対前年同期比8.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は167,151百万円となり、前連結会計年度末に比べ822百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の増加によるものであります。

負債は29,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少によるものであります。

また、純資産は137,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ997百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

自己資本比率は、82.1%(前連結会計年度末81.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、売上高は、薬価改定の影響はあるものの、「アルツ」や「エクロック」等が伸長することから、全体としては増収を見込んでおります。利益につきましては、販売費及び一般管理費が増加しますが、前期発生しました特別損失の反動等により増益となる予定であります。売上高は73,100百万円、営業利益は7,600百万円、経常利益は8,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6,700百万円を見込んでおります。2023年5月10日に公表した業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,561	56,835
受取手形、売掛金及び契約資産	19,268	20,163
有価証券	14,699	14,699
商品及び製品	6,734	7,383
仕掛品	2,481	2,421
原材料及び貯蔵品	6,348	7,029
その他	809	785
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	109,903	109,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,433	16,196
その他（純額）	9,064	8,859
有形固定資産合計	25,498	25,055
無形固定資産		
仕掛研究開発	5,800	5,800
その他	941	966
無形固定資産合計	6,741	6,766
投資その他の資産		
投資有価証券	17,511	19,382
その他	6,674	6,627
投資その他の資産合計	24,185	26,010
固定資産合計	56,425	57,832
資産合計	166,328	167,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,130	7,072
電子記録債務	89	126
短期借入金	3,850	3,850
未払法人税等	2,004	1,151
賞与引当金	942	460
その他	7,822	7,804
流動負債合計	20,838	20,465
固定負債		
株式給付引当金	117	85
退職給付に係る負債	6,349	6,367
繰延税金負債	1,771	1,771
その他	414	627
固定負債合計	8,653	8,851
負債合計	29,491	29,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,406	11,406
利益剰余金	126,135	125,832
自己株式	△30,026	△30,027
株主資本合計	131,368	131,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,724	6,025
退職給付に係る調整累計額	165	163
その他の包括利益累計額合計	4,889	6,189
非支配株主持分	578	578
純資産合計	136,836	137,833
負債純資産合計	166,328	167,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	18,197	18,150
売上原価	8,157	8,094
売上総利益	10,040	10,056
販売費及び一般管理費		
給料	1,407	1,417
賞与及び賞与引当金繰入額	307	297
退職給付費用	85	68
研究開発費	2,030	2,600
その他	2,153	2,379
販売費及び一般管理費合計	5,983	6,762
営業利益	4,056	3,293
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	229	247
その他	50	7
営業外収益合計	281	256
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	—	52
その他	1	5
営業外費用合計	5	61
経常利益	4,332	3,488
特別利益		
その他	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	19	37
減損損失	304	—
その他	—	0
特別損失合計	324	38
税金等調整前四半期純利益	4,008	3,451
法人税等	1,100	940
四半期純利益	2,907	2,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,907	2,510

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,907	2,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	1,301
退職給付に係る調整額	15	△1
その他の包括利益合計	106	1,300
四半期包括利益	3,014	3,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,014	3,810
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	17,088	—	17,088	—	17,088
製品の販売等に関する ライセンス契約	494	—	494	—	494
顧客との契約から生じる 収益	17,582	—	17,582	—	17,582
その他の収益	—	615	615	—	615
外部顧客への売上高	17,582	615	18,197	—	18,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,582	615	18,197	—	18,197
セグメント利益(営業利益)	3,760	295	4,056	—	4,056

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「薬業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては304百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	17,226	—	17,226	—	17,226
製品の販売等に関する ライセンス契約	318	—	318	—	318
顧客との契約から生じる 収益	17,545	—	17,545	—	17,545
その他の収益	—	605	605	—	605
外部顧客への売上高	17,545	605	18,150	—	18,150
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,545	605	18,150	—	18,150
セグメント利益(営業利益)	2,972	321	3,293	—	3,293

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2023年6月21日開催の取締役会において、当社普通株式の自己株式の処分を行う決議をし、2023年7月7日に払込手続きが完了いたしました。

1. 自己株式の処分の概要

- | | |
|---------------|--|
| (1) 処分の期日 | 2023年7月7日 |
| (2) 処分する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (3) 処分する株式の数 | 392,289株 |
| (4) 処分価額 | 1株につき3,679円 |
| (5) 処分総額 | 1,443,231,231円 |
| (6) 処分の方法 | 第三者割当 |
| (7) 処分先 | 株式譲渡契約に定める ARTham Therapeutics 株式会社(以下、「アーサム(株)」という。)の株主及び新株予約権者 |

2. 処分の目的及び理由

上記自己株式の処分は、2021年11月30日付で公表したアーサム(株)買収において締結した株式譲渡契約に基づき、難治性脈管奇形治療剤「KP-001(従来の開発コード:ART-001)」に関するマイルストンの達成により、条件付対価として払込むものであります。